

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年6月6日

栃木県知事  
福田 富一 様

提出者

住 所 栃木県下野市下石橋561番地  
氏 名 株式会社ジェイエビバレッジ佐賀  
関東工場 工場長 湯本 貴士  
電話番号 0285-53-5772

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社ジェイエビバレッジ佐賀 関東工場
事業場の所在地	栃木県下野市下石橋561番地
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	清涼飲料製造業(1011)
② 事業の規模	製造品出荷額 24億83百万円/年(令和4年度実績)
③ 従業員数	161名の要員配置にて操業対応
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり(資料①～⑥)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙2のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	排 出 量	別紙3のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	排 出 量	別紙3のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4のとおり		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙4のとおり		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙4のとおり		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4のとおり		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
(これまでに実施した取組) 別紙4のとおり			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
(今後実施する予定の取組) 別紙4のとおり			

## (第4面)

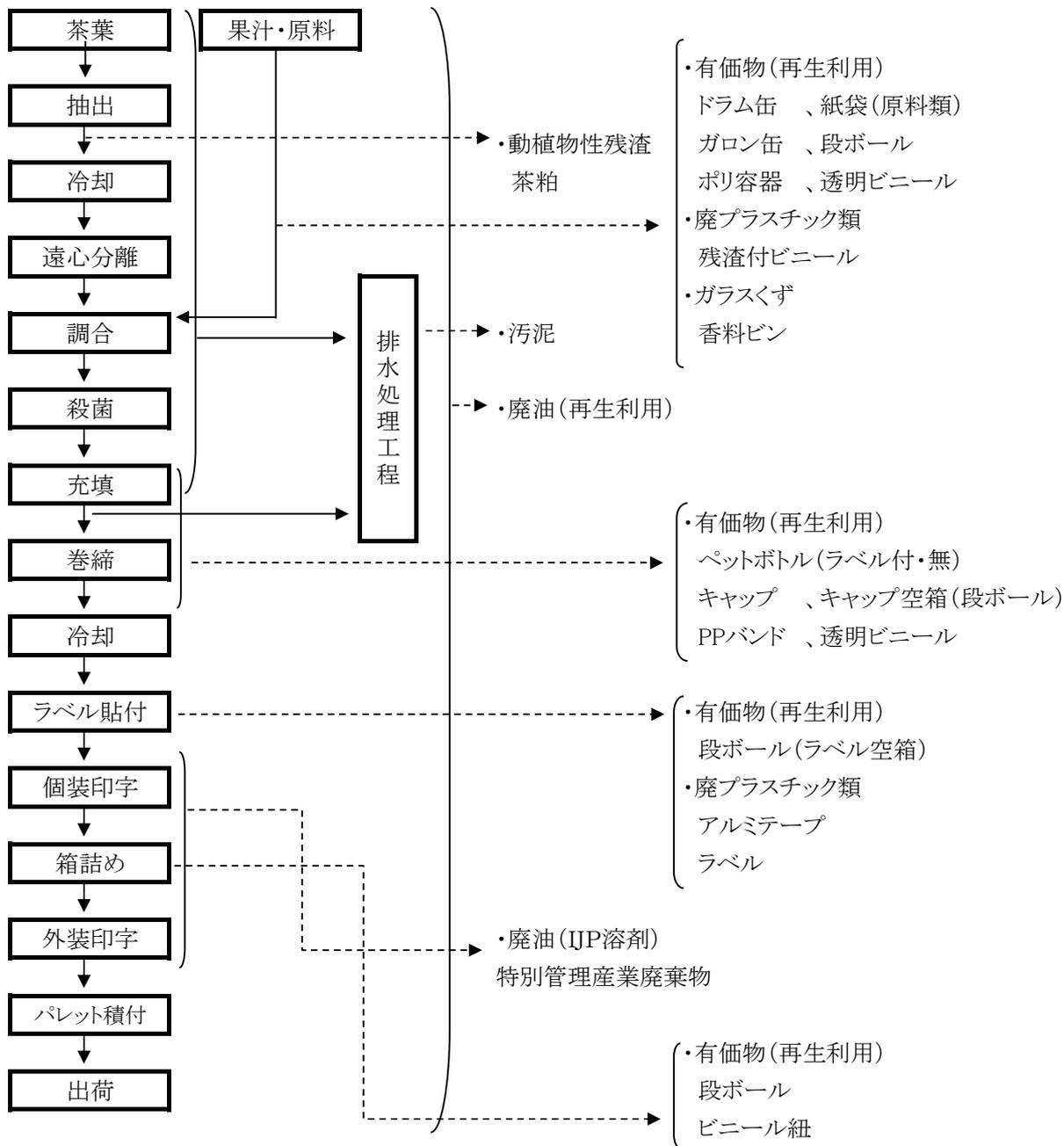
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4のとおり		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	全処理委託量	別紙3のとおり t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙3のとおり t	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙3のとおり t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙3のとおり t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙3のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4のとおり		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	全処理委託量	別紙3のとおり t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙3のとおり t	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙3のとおり t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙3のとおり t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙3のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4のとおり		
※事務処理欄			

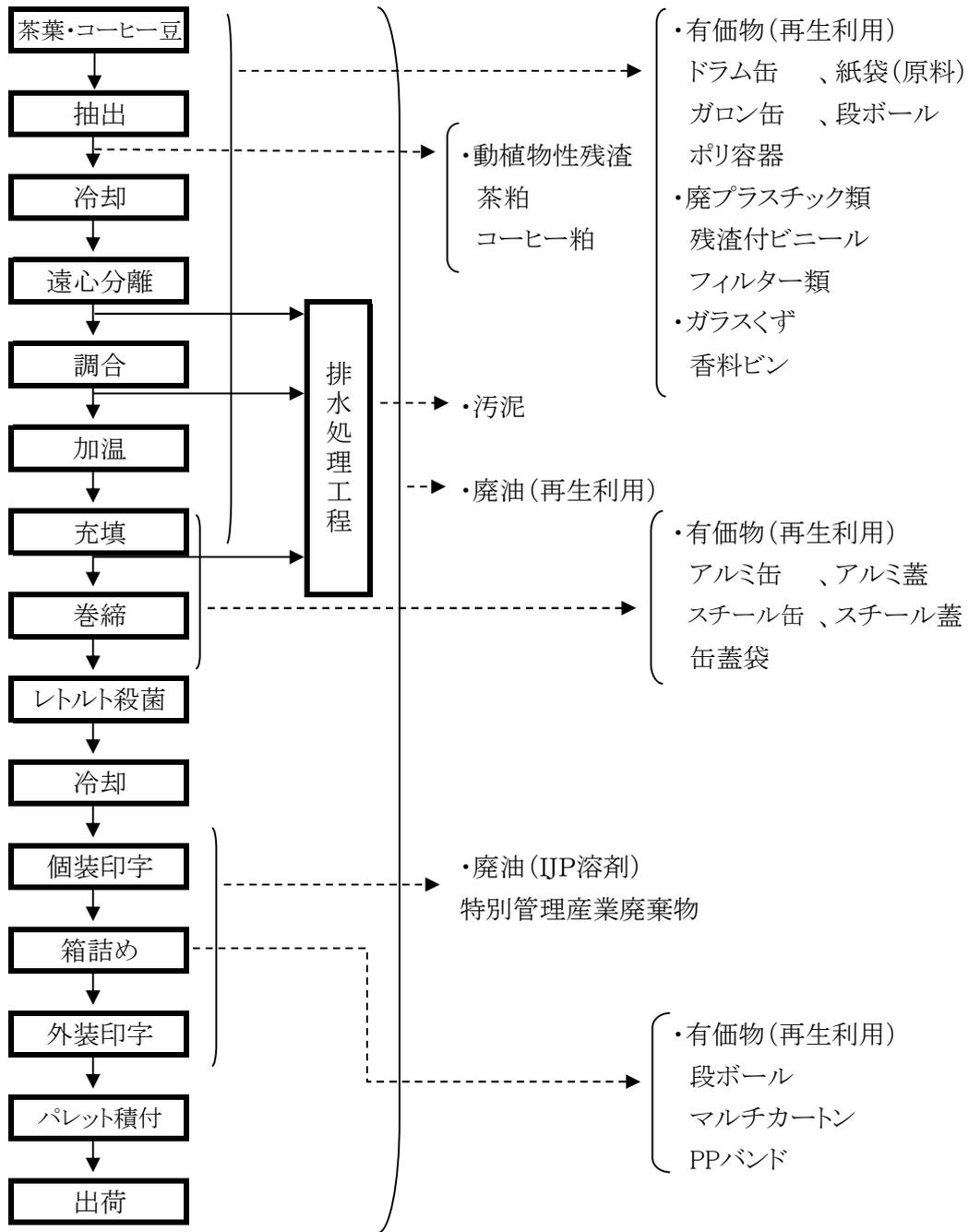
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

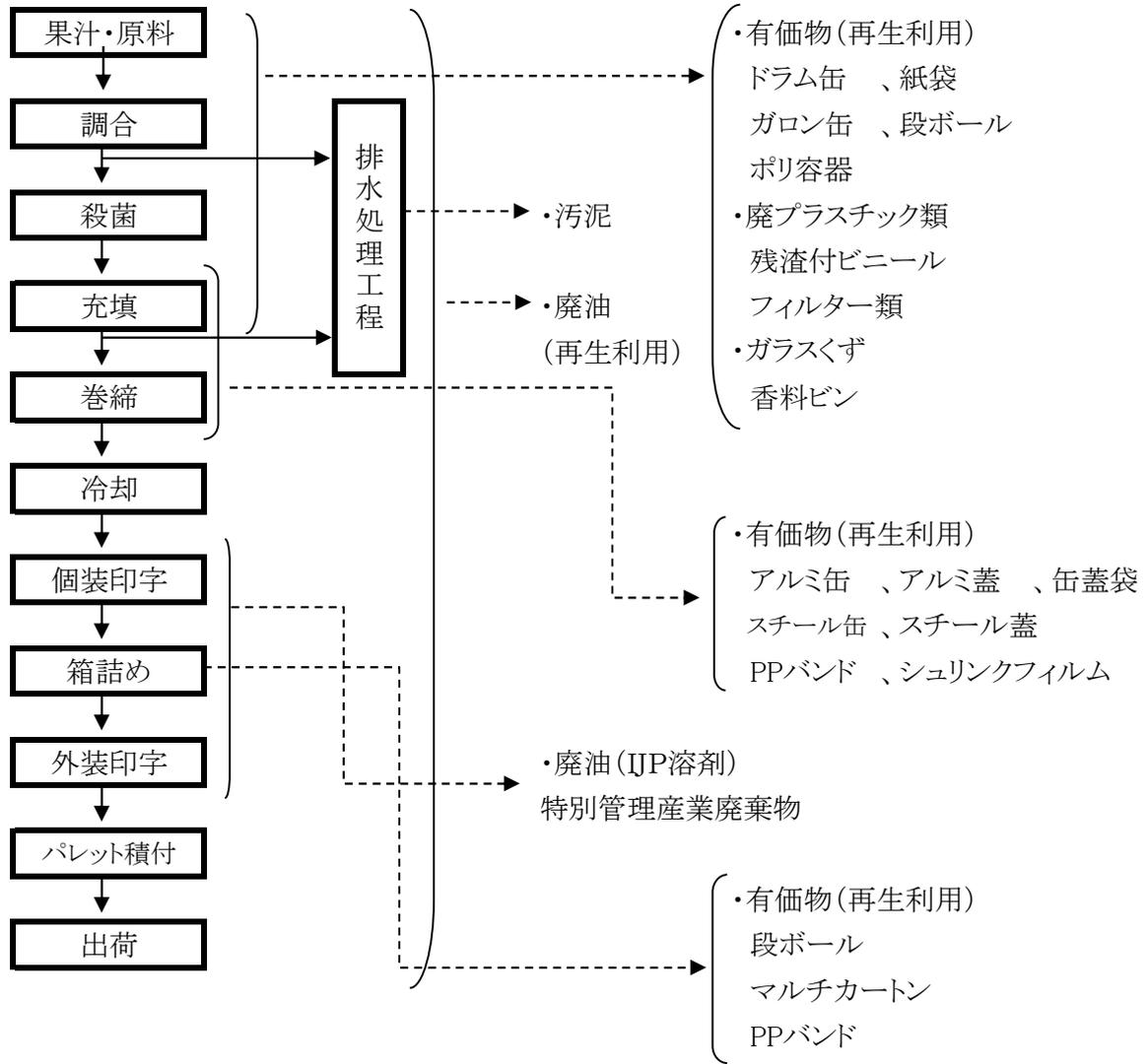
ペットボトルライン フローシート



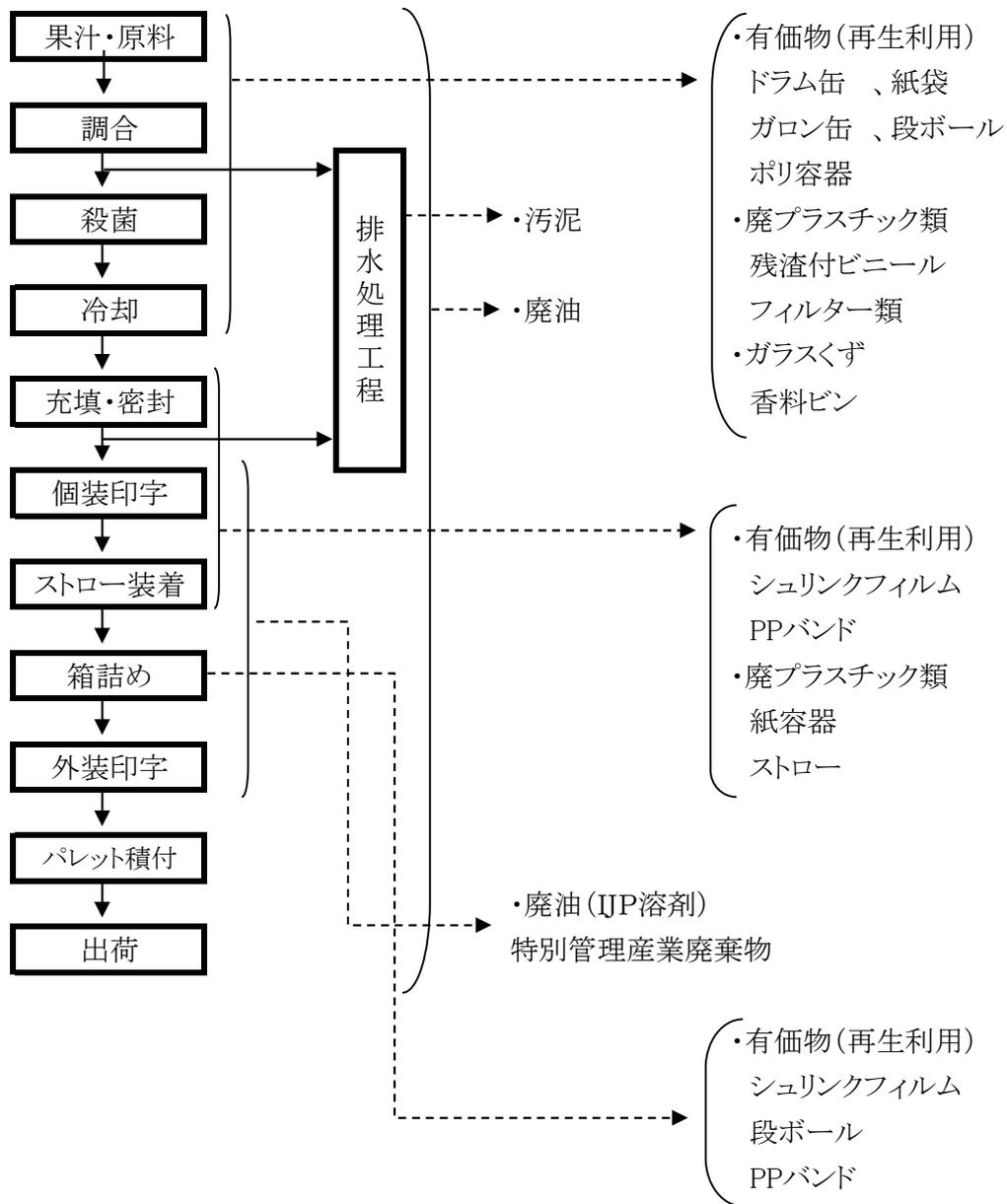
缶ライン(レトルトライン) フローシート



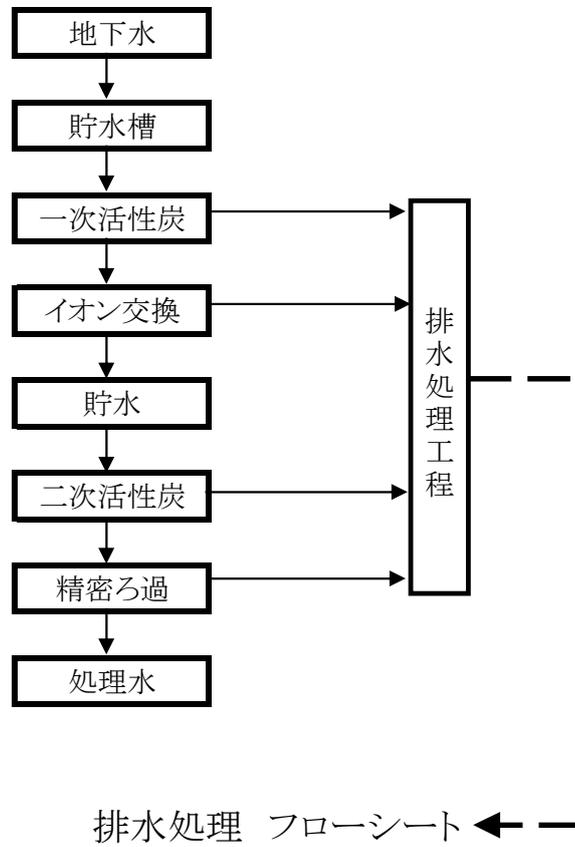
缶ライン フローシート



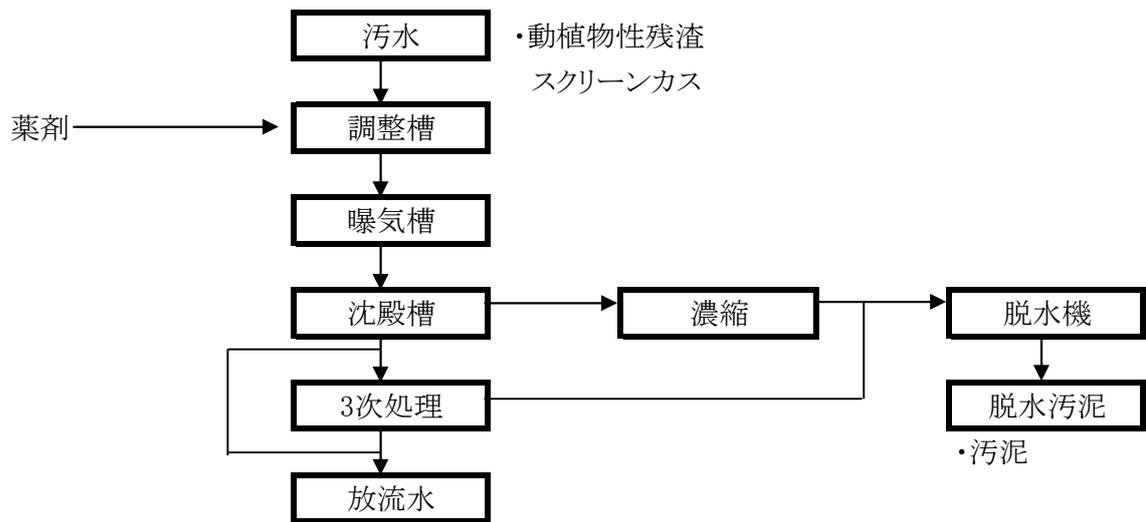
### 紙ライン フローシート



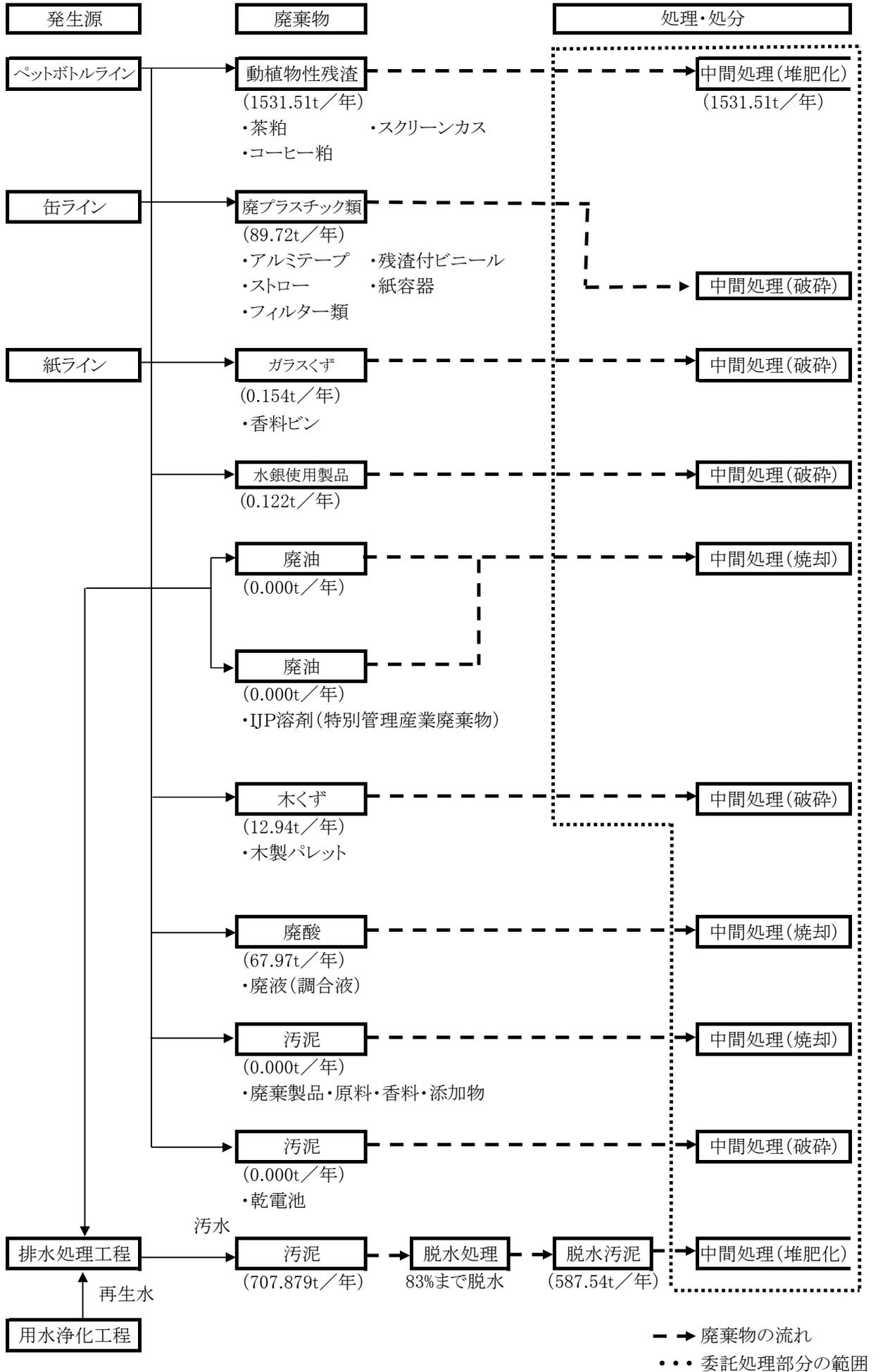
### 用水浄化 フローシート



### 排水処理 フローシート



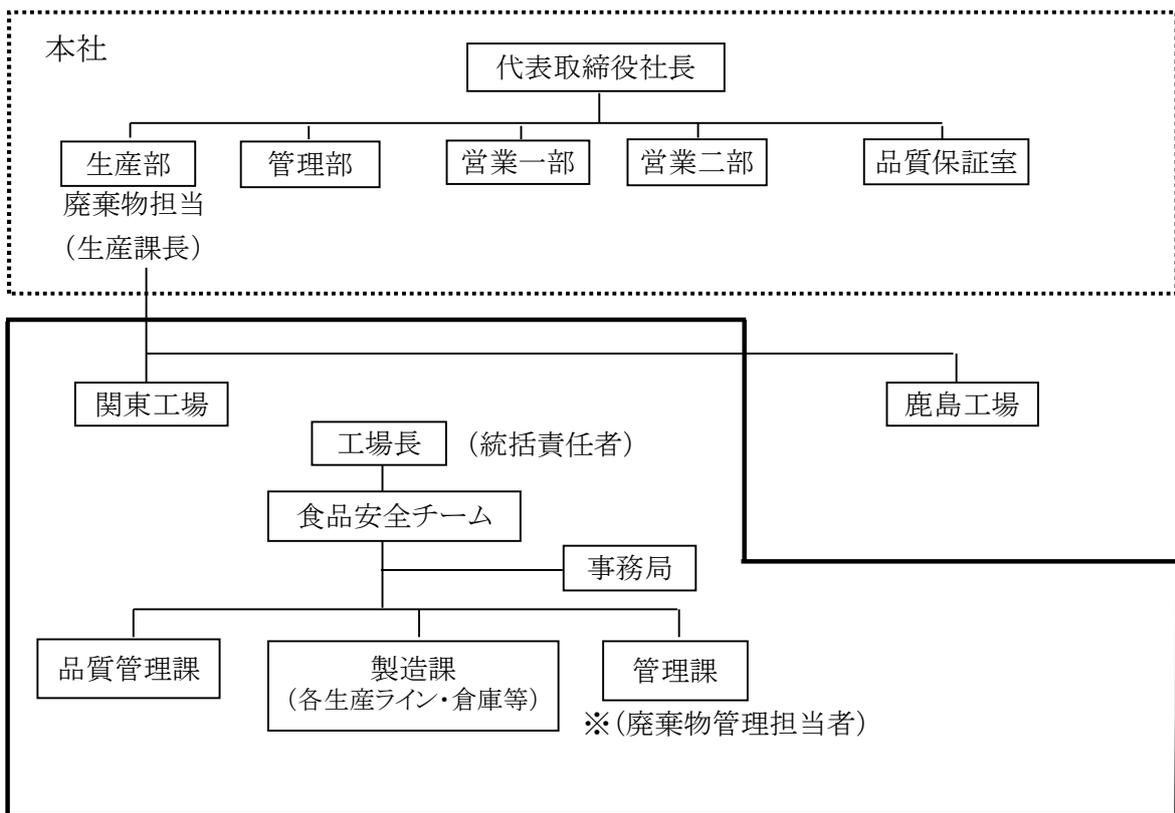
廃棄物処理フロー図(令和4年度排出量)



＜産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項＞  
管理体制図

	統括責任者	所属：関東工場 職名：工場長
	廃棄物担当	関東工場 管理課 職名：管理課長 人数 9名
役割	食品安全チーム	○廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、再生利用、中間処理、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行ううえで必要な事項を検討する。 ・チームリーダー：品質管理課長 ・チームメンバー：管理、品質管理、製造課長及び主任 ・事務局：品質管理課
	統括責任者	○廃棄物処理の方針の策定 ○工場の廃棄物管理規定の策定、改廃 ○廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
	廃棄物管理担当者 廃棄物処理担当者	○廃棄物処理計画の策定 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○産業廃棄物処理施設の運転、維持管理状況の把握 ○処理業者、再生利用業者の調査、選定および管理 ○委託契約の締結 ○産業廃棄物および特別管理産業廃棄物管理票の交付、管理 ○監督官庁への各種報告 ○従業員、関連会社に対する教育、啓発 ○その他関係する事項

廃棄物管理組織



別紙3

令和4年度実績値及び令和5年度目標値

目標値(基本設定):前年実績数量の1%削減

廃棄物の種類及び 実績、目標の別 排出・処理 の区分	汚泥		安定型混合廃棄物		ガラスくず	
	実績[t] (R4年度)	目標[t] (R5年度)	実績[t] (R4年度)	目標[t] (R5年度)	実績[t] (R4年度)	目標[t] (R5年度)
排出量	707.879	700.800	0.040	0.000	0.154	0.152
自己再生利用量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
自己熱回収量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
自己中間処理減量化量	120.339	119.136	0.000	0.000	0.000	0.000
自己埋立処分又は海洋投入 処分量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
全処理委託量	587.540	581.665	0.040	0.000	0.154	0.152
優良認定処理業者への処理 委託量	0.000	0.000	0.040	0.000	0.154	0.152
再生利用業者への処理委託 量	587.540	581.665	0.000	0.000	0.000	0.000
認定熱回収業者への処理委 託量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
認定熱回収業者以外の熱回 収を行う業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000

目標値(基本設定):前年実績数量の1%削減

廃棄物の種類及び 実績、目標の別 排出・処理 の区分	蛍光灯		動植物性残渣		廃プラスチック類	
	実績[t] (R4年度)	目標[t] (R5年度)	実績[t] (R4年度)	目標[t] (R5年度)	実績[t] (R4年度)	目標[t] (R5年度)
排出量	0.122	0.121	1,531.510	1,516.195	89.720	88.823
自己再生利用量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
自己熱回収量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
自己中間処理減量化量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
自己埋立処分又は海洋投入 処分量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
全処理委託量	0.122	0.121	1,531.510	1,516.195	89.720	88.823
優良認定処理業者への処理 委託量	0.122	0.121	561.960	556.340	89.720	88.823
再生利用業者への処理委託 量	0.122	0.121	1,531.510	1,516.195	89.720	88.823
認定熱回収業者への処理委 託量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
認定熱回収業者以外の熱回 収を行う業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000

目標値(基本設定):前年実績数量の1%削減

廃棄物の種類及び 実績、目標の別 排出・処理 の区分	廃酸		木くず		廃油	
	実績[t] (R4年度)	目標[t] (R5年度)	実績[t] (R4年度)	目標[t] (R5年度)	実績[t] (R4年度)	目標[t] (R5年度)
排出量	67.970	67.290	12.940	6.000	0.000	0.000
自己再生利用量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
自己熱回収量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
自己中間処理減量化量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
自己埋立処分又は海洋投入 処分量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
全処理委託量	67.970	67.290	12.940	6.000	0.000	0.000
優良認定処理業者への処理 委託量	67.970	67.290	12.940	6.000	0.000	0.000
再生利用業者への処理委託 量	0.000	0.000	12.940	6.000	0.000	0.000
認定熱回収業者への処理委 託量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
認定熱回収業者以外の熱回 収を行う業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000

目標値(基本設定):前年実績数量の1%削減

廃棄物の種類及び 実績、目標の別 排出・処理 の区分	燃焼性廃油					
	実績[t] (R4年度)	目標[t] (R5年度)	実績[t] (R4年度)	目標[t] (R5年度)	実績[t] (R4年度)	目標[t] (R5年度)
排出量	0.000	0.100				
自己再生利用量	0.000	0.000				
自己熱回収量	0.000	0.000				
自己中間処理減量化量	0.000	0.000				
自己埋立処分又は海洋投入 処分量	0.000	0.000				
全処理委託量	0.000	0.100				
優良認定処理業者への処理 委託量	0.000	0.100				
再生利用業者への処理委託 量	0.000	0.000				
認定熱回収業者への処理委 託量	0.000	0.000				
認定熱回収業者以外の熱回 収を行う業者への処理委託量	0.000	0.000				

## ＜産業廃棄物の排出の抑制に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
汚泥	・当該廃棄物発生施設の運転および水分管理等により余剰汚泥の発生を抑え、減容化を図る。	・微生物環境を調整、モニタリングすることで、余剰汚泥量の減容化を図る。
廃油・燃焼性廃油	・再生利用ルートの調査・検討を行う。	・再生利用ルート開拓に努める。
廃プラスチック類	・新規再生利用ルートの採用。	・引き続き再生利用ルートの拡大を行う。 ・分別による減容化。
動植物性残渣	・新規再生利用ルートの採用。	・再生利用ルート開拓に努める。
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、蛍光灯	・破碎により減容化を図る。	・蛍光灯については、LED更新による蛍光灯の不活性化に努める。
木くず	・再生利用ルートの調査・検討を行う。	・引き続き、再生利用ルートの調査・検討を行う。
廃酸	・自社排水設備により処理を行い、減容化を図る。	・引き続き、自社排水設備により処理を行い、減容化を図る。

## ＜産業廃棄物の分別に関する事項＞

	分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組	今後実施する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組
汚泥	—	—
廃油・燃焼性廃油	—	—
廃プラスチック類	・再生利用可能な対象物の分別を徹底する。	・引き続き、再生利用可能な対象物の分別を徹底する。
動植物性残渣	・茶粕、コーヒー粕について、排出時にコンテナ単位で分別している。	・引き続き、茶粕、コーヒー粕について、排出時にコンテナ単位の分別を行う。
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、蛍光灯	—	—
木くず	・木製のパレットについて、同規格分での保管を行い再生利用ルートの調査・検討を行う。	・引き続き、木製のパレットについて、同規格分での保管を維持するとともに再生利用ルートを確立する。
廃酸	—	—

< 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項 >

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
汚泥	—	—
廃油・燃焼性廃油	—	—
廃プラスチック類	—	—
動植物性残渣	—	—
ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず、蛍光灯	—	—
木くず	—	—
廃酸	—	—

< 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項 >

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
汚泥	・排水処理施設において、脱水処理を行っている。	・引き続き汚泥の脱水処理を行い、減容化に努める。
廃油・燃焼性廃油	—	—
廃プラスチック類	—	—
動植物性残渣	—	—
ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず、蛍光灯	—	—
木くず	—	—
廃酸	—	—

< 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 >

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
汚泥	—	—
廃油・燃焼性廃油	—	—
廃プラスチック類	—	—
動植物性残渣	—	—
ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず、蛍光灯	—	—
木くず	—	—
廃酸	—	—

< 産業廃棄物の処理の委託に関する事項 >

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
汚泥	—	・委託先候補の拡大により、産業廃棄物処理の安定化に努める。
廃油・燃焼性廃油	—	—
廃プラスチック類	・一部、再生利用ルートの採用により産業廃棄物としての処理委託量を減量した。	・引き続き、産業廃棄物の処理委託量の減量に努める。
動植物性残渣	・再生利用ルートの採用。	・引き続き、再生利用ルートの拡大を行う。
ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず、蛍光灯	・無色・有色分別を検討し再生利用ルートの調査・検討を行う。	・引き続き、無色・有色分別を検討し再生利用ルートの調査・検討を行う。
木くず	・木製のパレットについて、再生利用ルートの調査・検討を行う。	・引き続き、木製のパレットについて、再生利用ルートの調査・検討を行う。
廃酸	—	—